

## 第 37 回病診連携委員会要録

日 時	平成 24 年 10 月 29 日 (月) 午後 7 時 30 分
場 所	浪速区医師会 会議室
出席者	浪速区医師会 : 7名 南 医 師 会 : 1名 愛染橋病院 : 3名 大野記念病院 : 3名 四天王寺病院 : 1名 多根総合病院 : 1名 富 永 病 院 : 1名 浪速生野病院 : 2名 大和中央病院 : 2名 東成区医師会 : 2名 住之江区医師会 : 1名 歯科医師会 : 2名 レイクリエーション : 2名 ブルーカード事務局 : 1名 浪速区医師会事務局 : 1名

今回の委員会には、東成区医師会、住之江区医師会、浪速区歯科医師会より参加があった。

### 議 題

#### 1. 第 36 回病診連携委員会報告について

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

#### 2. ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について（浪速生野病院）

土曜日の午後に心肺停止で救急搬送された症例がブルーカードの登録患者であった。主治医と事務局には FAX で経過報告を行ったとのことであった。今後もこのようなレアな経緯であってもブルーカード症例に転帰があった場合は、使用状況報告書を利用して事務局へ報告してもらうことが確認された。

#### 3. 病診連携委員会のアンケート結果について

##### (1) 連携病院への質問

- ① 地区別患者分布および地域連携室を通じた地区別データの情報提供は可能か。

愛染橋病院 : 可能

大野記念病院 : 地区別患者データはない

大和中央病院 : 不可能

多根総合病院 : 院内調整結果により可能

富永病院 : 可能

浪速生野病院 : 可能

- ② 登録医の参加（連携）希望地域について

大野記念病院 : 西区

大和中央病院 : 西成区

浪速生野病院 : 西成区

南医師会のように医師会ぐるみで参加を表明してもらうことはなかなか困難なので、まずは天王寺区医師会のように地区医師会としての許可をもらって希望診療所のみ部分参加を募っていくこととなった。

##### (2) 診療所への質問

- ① 医療保険証にもマイナンバー制を導入することについて

現時点では、活用が不明なマイナンバーという共通番号制を容認しないとい

う意見や、医療のみに限定した共通番号制なら良いのではという意見があった。

- ② 医療情報の共有にかかる個人認証について  
個人情報である限りはセキュアな仕組みが必要であり、証明書のものが必要ではないかとの意見があった。
- ③ 自分の医療情報を自由に利用することについて  
検査データや薬剤情報などの自由に利用してもよい情報と医師の所見などの医療機関の承諾などを要する情報があるという意見と医療情報の有効な利用法を医療サイドから提案する必要があるという意見があった。

#### 4. 東成区医師会の取組みについて（東成区医師会）

東成区医師会より、区医師会の在宅医療に対する取り組みをプレゼンテーションしてもらった。在宅での看取りを積極的に行うための看護・介護の体制作り、サービス付き高齢者住宅を含めた街づくり、それに合わせた24時間在宅医療体制の整備を企画しているとのことであった。住人が病気だけではなく、自分をよく知った「かかりつけ医」を持つための「地域連携室」を医師会内に設置し、住み慣れた地域で、自分らしく最後まで（エイジング・イン・プレイス）を実現するために、診療所と病院が連携し、看護・介護の分野とも協力して、地域完結型の地域医療を実践しているとのことであった。今里商店街には、認知症や独居の高齢者の情報を、医療や介護、行政にもつなげる町の交流拠点「新道パトリ」（介護、住まい、防災ネットワーク）ができていたことが紹介された。東成区医師会は、国土交通省が支援する在宅医療拠点連携事業に参加しているとのことであった。現在、地域連携室には、訪問看護と認知症に通じた看護師が2名所属しており、近隣病院に出向いて支援できる住人を見つけ、早期に退院後の支援ができる体制を作っているとのことであった。

#### 5. 大阪府転退院調整・在宅医療円滑化ネットワーク事業について

前回、久保田議長よりブルーカードの今後の展開の一つとして、在宅医療ネットワークと連携させていく方針であることが説明された。同じタイミングで、大阪府医師会より「大阪府転退院調整・在宅医療円滑化ネットワーク事業」として在宅医療推進モデル事業の募集があった。趣旨を同じくするものであり、大阪府医師会からの助成金があれば事業が展開しやすいので、青写真のみの事業計画書を作成し応募したところ承認された。次回の委員会にその企画のたたき台を提案するので、この委員会で議論して完成した企画を作り、すみやかに実行したいと考えていることが説明された。

#### 6. 「未来医療を考える会」（10月20日）について

10月20日にスイスホテルで未来医療を考える会が開催され、多数の人の参加と、協賛を得ることができ、大盛況のもとに終了したことが報告された。

#### 7. ブルーカードアプリについて（レイクリエーション）

レイクリエーションよりブルーカードアプリの変更点が説明された。登録画面上にこれまでなかった新規と更新を選択する画面が追加された。

また、確認画面上にプリント用画像保存ができるボタンが追加された。保存を選択するとフォトライブラリー中に保存されるので、必要なブルーカードを選択して印刷をクリックすれば、iPad対応プリンタから印刷ができるとのことであった。

#### 8. その他

前回、この委員会に参加していただいた東医師会の先生が登録医として参加されたことが報告された。

現時点でのブルーカードの登録件数は、浪速区380件、他地区86件の合計429件、現在までの使用状況は、浪速区258件、他地区9件、稼働件数は3件であると事務局より報告があった。特に問題報告はなかった。

次回会議予定 平成24年11月26日（月）午後7時30分～